

ご使用に際し、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

ここを押して
開けてください。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないでください

(1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) ぜんそくを起こしたことがある人。(3) 妊婦または妊娠していると思われる人。(4) 15歳未満の小児。

2. 次の部位には使用しないでください

(1) 目の周囲、粘膜等。(2) 湿疹、かぶれ、傷口。(3) みずむし・たむし等または化膿している患部。

3. 本剤を使用している間は、他の外用鎮痛消炎薬を併用しないでください

4. 連続して2週間以上使用しないでください

🗨 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談してください

(1) 医師の治療を受けている人。(2) 他の医薬品を使用している人。(3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(4) テーブ剤でかぶれ等を起こしたことがある人。(5) 次の診断を受けた人。消化性潰瘍、血液障害、肝臓病、腎臓病、高血圧、心臓病、インフルエンザ。(6) 次の医薬品の投与を受けている人。ニューキノロン系抗菌剤、トリアムテレン、リチウム、メトトレキサート、非ステロイド性消炎鎮痛剤、ステロイド剤、利尿剤、シクロスポリン、選択的セロトニン再取り込み阻害剤。(7) 高齢者。

2. 使用中または使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、痛み、刺激感、熱感、皮ふのあれ、落屑(フケ、アカのような皮ふのはがれ)、水泡、色素沈着

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮ふのかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれます。
接触皮膚炎、光線過敏症	貼付部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水泡・ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がる場合があります。また、日光が当たった部位に症状があらわれたり、悪化することがあります。

3. 5～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談してください

【効能・効果】

関節痛、肩こりに伴う肩の痛み、腱鞘炎(手・首の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、筋肉痛、腰痛、打撲、捻挫

【用法・用量】

○プラスチックフィルムをはがし、1日1回1～2枚を患部に貼付してください。ただし、1回あたり2枚を超えて使用しないでください。なお、本成分を含む他の外用剤を併用しないでください。○15歳未満の小児は使用しないでください。

<用法・用量に関連する注意>

(1) 定められた用法・用量をお守りください。(2) 1回あたり、24時間を超えて貼り続けしないでください。さらに同じ患部に貼りかえる場合は、その貼付部に発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等の症状が起きていないことを確かめてから使用してください。(3) 本剤は、痛みやはれ等の原因になっている病気を治療するのではなく、痛みやはれ等の症状のみを治療する薬剤ですので、症状がある場合だけ使用してください。(4) 汗をかいたり、患部がぬれている時は、よく拭き取ってから使用してください。(5) 皮ふの弱い人は、使用前に腕の内側の皮ふの弱い箇所に、1～2cm角の小片を目安として半日以上貼り、発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等の症状が起きないことを確かめてから使用してください。(6) 同じ部位に他の外用剤を併用しないでください。

【成分・分量(膏体100g中)】 1枚7cm×10cm、膏体量0.75g

ジクロフェナクナトリウム……………2.0g 0-メントール……………3.5g

添加物:イソステアリン酸、BHT、ステレン・イソブレン・スチレンブロックコポリマー、テルペン樹脂、スクワラン、流動パラフィン

【保管及び取扱い上の注意】

(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。(2) 小児の手の届かない所に保管してください。(3) 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります) (4) 品質保持のため、未使用分は袋に入れ、開口部のファスナーを閉めて保管してください。(5) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独) 医薬品医療機器総合機構

<電話> 0120-149-931 (フリーダイヤル)

〈お問い合わせ先〉

本製品に関するお問い合わせは、下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

ラクール薬品販売株式会社

フリーダイヤル 0120-86-8998

発売元
ラクール薬品販売株式会社
東京都足立区鹿浜1丁目9番14号

製造販売元
東光薬品工業株式会社
東京都足立区新田2丁目16番23号